

『風立ちぬ』から90年 堀辰雄 しあわせのヒント」展 の実施報告について

- 1 開催期間：2026年1月17日（土）～3月22日（日）
- 2 開催場所：町田市民文学館ことばらんど2階展示室
- 3 観覧者数：4,977人／55日間（1日平均：90.5人）
- 4 協力：堀辰雄文学記念館、軽井沢高原文庫、
旧富士見高原療養所資料館、立原道造記念会

5 開催報告

堀辰雄の代表作『風立ちぬ』の発表から90年を記念して、不安定な時代を生き抜いた作家・堀辰雄のことばと生活から、現代社会を生き抜くための「しあわせのヒント」を学ぶ展覧会を実施しました。

当館でこれまで開催されてきた近現代文学者の個人展では、若年層の集客に苦戦していました。そこで、これまではモノクロームの肖像写真を用いることが多かったポスターやチラシについて、今回、新たな試みとして、新進気鋭のイラストレーターにイラストレーションを依頼しました。この結果、従来の古めかしく敷居の高いイメージを一新させ、今なお多くの人を魅了する堀辰雄の作品を新鮮なイメージとともにお届けし、また幸福という普遍的なテーマで作家をとらえ直すことで、幅広い世代への訴求を図りました。

こうした取り組みにより今回の展覧会は、老若男女問わず様々な方に来館いただき、文学作品を自身の生活と結びつけ、自分事として鑑賞いただく機会を提供できたと考えています。



(1) 関連事業

展覧会オープニング記念イベントとして、トークイベント「『風立ちぬ』をペーパードライブ」を実施。そのほか、ワークショップ、朗読会、文学講演会の3イベントを実施し、担当の学芸員による展示解説を3回実施。いずれも受付からほどなくして申込満了に達し、参加者の意欲・関心の高さがうかがえました。また、当日の参加者の満足度も高く、盛況でした。

| 実施日 | タイトル | 参加人数 |
|-------------------------|-------------------------------------|-------------------|
| 1月17日 | トークイベント「『風立ちぬ』をペーパードライブ」 | 72人 |
| 2月11日 | 製本ワークショップ「コーネル装でつくる！文庫サイズのオリジナルノート」 | 16人 |
| 2月21日 | 朗読会「耳で楽しむ『風立ちぬ』」 | 75人 |
| 3月14日 | 文学講演会「堀辰雄に学ぶしあわせのヒント」 | 57人 |
| 1月31日 2月23日 3月22日 | 展示解説 | 13人 25人 28人 |

(2) 資料

堀辰雄文学記念館、軽井沢高原文庫、旧富士見高原療養所資料館、国立映画アーカイブ、神奈川近代文学館の各館から借用した資料に当館所蔵・個人蔵の資料を加え、独自調査により矢野綾子（堀辰雄の婚約者で「風立ちぬ」のモデル）に関する記述を発見した雑誌2冊を含む約235点の資料を展示しました。主な出品資料は以下のとおり。

書籍・雑誌：130点／愛用品・遺品：27点／自筆資料（書簡・原稿類）：45点／写真・印刷物：33点

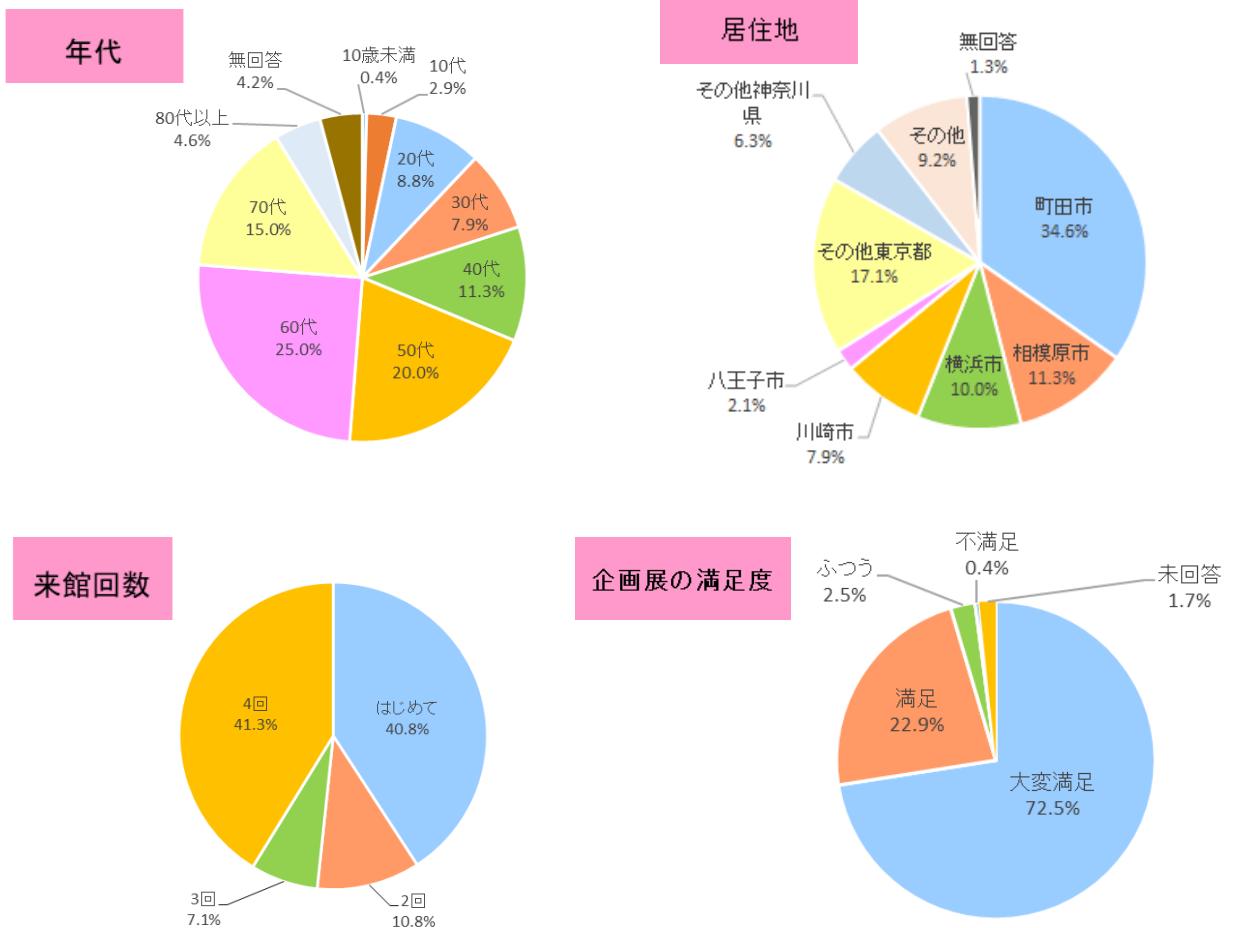
(3) パブリシティ

- ・「朝日新聞」、「中国新聞」
- ・「東京新聞」「文藝」2026年春季号（有料広告）
- ・地元のケーブルテレビ、FMラジオ
- ・『広報まちだ』、『生涯学習NAVI』
- ・ポスター・チラシ
- ・町田市公式HP、SNS（X・Instagram）

(4) 来館者アンケート

年代は60代が25%と最も多く、次いで50代(20%)、70代(15%)となる一方で、20代~40代が28%を占め、幅広い年代の方々に楽しんでいただくことができました。居住区分では町田市民が34.6%となり、関東地方を中心に全国から多くの方々にご来館いただきました。満足度では95.4%の方から満足の評価を得ることができ、「堀辰雄の作品や人生観から自らの幸せとは何かを、自問自答する時間を過ごせた」「私も友だちと一緒に過ごす日々を大切に幸せに生きていたい」「『しあわせについて』という観点で構成されているのは、紹介や研究にとどまらない、来館者にとって興味をひかれるものだと思います」「一人の作家の人生や幸福をたどる事ができ素晴らしい企画。気持ちが前向きになりました」等、テーマ性に共感した来館者が多く見られました。

■アンケート集計より



■ 展示会場風景



- (左上) はじめに 「風立ちぬ」 から 90 年
- (右上) 第一章 『風立ちぬ』 —— 幸福の希求
- (左下) 第二章 『風立ちぬ』 前後 —— モデル・堀辰雄の肖像
- (右下) 第三章 堀辰雄の “しあわせ”